

平成21年度病虫害発生予報第7号の発表について

向こう1か月の主要な病虫害の発生動向についての病虫害発生予察情報及び病虫害防除に関する栽培管理について解説します。

病虫害防除の主な留意点

- ・ 気象庁が発表する1か月予報では、平均気温は、北海道、東北、関東及び北陸で平年並又は低い、東海から九州北部は平年並、九州南部は高い、降水量は関東、甲信及び東海で平年並でその他の地域は少ない、日照時間は、関東、甲信、東海及び九州北部で少なく、その他の地域は平年並みと予報されています。
- ・ 水稻のトビイロウンカは九州全域から中国四国地方まで発生が多く、これらの県から防除の実施が呼びかけられています。また、これまでの低温・降雨の影響で果樹、野菜に病害の発生が多く認められた地域がありますので注意が必要です。病虫害防除を効果的に実施するためには病虫害の発生状況を的確に把握し、的確な防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ なお、薬剤防除を実施する場合には、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、水稻や果樹類では収穫時期を迎えているので、農薬の使用基準を遵守し、薬剤防除の時期に留意するとともに、散布対象外の農産物に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。

用語の解説

発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅
（平年値は過去10年間の平均）

地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 - 北東北：青森県、岩手県、秋田県
 - 南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 - 北関東：茨城県、栃木県、群馬県
 - 南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
 - 北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
 - 南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

稲

- ・ トビイロウンカの発生は、近畿の一部地域で「多い」、中国、四国及び九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」と予想されます。

これらの地域では、「警報」及び「注意報」が発表され、9月中旬までの防除徹底が呼びかけられています。稲の株元を注意深く観察し、本害虫を確認した場合は、各県が発表している「警報」及び「注意報」の防除指導に従い適期に薬剤防除を実施してください。また、本害虫には薬剤抵抗性を発達させた個体が確認されているので、薬剤防除の際には病害虫防除所等から出されている情報を参考に薬剤を選択し、薬剤が稲の株元に付着するよう丁寧に実施してください。

大豆

- ・ 吸汁性カメムシ類の発生は、南関東、東海、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

ほ場観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。
- ・ ハスモンヨトウの発生は、九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、関東、東海、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。

ほ場観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

果樹

果樹については、多くが収穫期を迎えています。薬剤防除の際には、農薬の使用基準を遵守し、防除時期に十分留意するとともに、散布対象外の農産物に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。

(果樹共通)

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、北関東、四国及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
例年カメムシ類の被害が多い園地では、園内観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は適切に防除を実施してください。

(かんきつ)

- ・ **かいよう病**の発生は、「平年並」と予想されますが、本病は連続した降雨により発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
特に、強風による擦れなどの傷口から容易に感染するため、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。
- ・ **黒点病**の発生は、南関東、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨が続くと発生が助長されるので、散布間隔が開き過ぎないように降雨の合間を見て薬剤防除を実施してください。
また、本病の伝染源である枯れ枝を除去して、確実に園外で処分してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、南関東、中国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

(りんご)

- ・ **斑点落葉病**の発生は、東海の一部地域で「多い」、北海道の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **黒星病**の発生は、南東北の一部地域で「多い」と予想される他は「平年並」と予想されます。
本病は降雨が続くと発生が助長されます。
罹病葉及び罹病果の除去に努めるとともに、散布間隔が開き過ぎないように降雨の合間を見て薬剤防除を実施してください。

- ・ **ハダニ類**の発生は、甲信の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

(なし)

- ・ **黒斑病**の発生は、「平年並」から「やや少ない」と予想されますが、本病は降雨日数が多いと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **黒星病**の発生は、近畿、九州の一部地域で「多い」、関東の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東北及び北陸の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨が続くと発生が助長されます。
罹病葉及び罹病果の除去に努めるとともに、散布間隔が開き過ぎないように降雨の合間を見て薬剤防除を実施してください。
- ・ **シンクイムシ類**及び**ハマキムシ類**の発生は、関東の一部地域で「やや多い」と予想される他は「平年並」と予想されます。
園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。
- ・ **ハダニ類**の発生は、関東の一部地域で「多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想される他は「平年並」又は「やや少ない」と予想されます。
園内観察を行い、発生に応じて薬剤防除を実施してください。

(もも)

- ・ **せん孔細菌病**の発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想される他は「平年並」又は「やや少ない」と予想されます。
本病は葉や果実の気孔や傷口から感染するため、降雨や強風により発生が助長されます。
本病の発生が見られた園地では、収穫終了後も越冬伝染源となる感染を防止するため、薬剤防除を実施してください。

(ぶどう)

- ・ **晩腐病**の発生は、北関東及び甲信の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病害は降雨により発生が助長されます。
天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **べと病**の発生は、北陸の一部地域で「多い」、近畿の一部地域で「多い」又は「やや多い」、関東、東海及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は降雨が多いと発生が助長されます。
天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

茶

- ・ **炭そ病**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の多発が予想される園では、茶園の管理状況に応じて適切な薬剤防除を実施してください。
- ・ **チャノコカクモンハマキ**の発生は、南関東及び東海の一部地域で「多い」、近畿及び九州の一部地域で「やや多い」、**チャハマキ**の発生は、東海の一部地域で「多い」、南関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。
これらの害虫は、地域の予察灯やフェロモントラップの誘殺状況を参考に、成虫発生最盛日の7～10日後を目安に薬剤防除を実施してください。

野菜

(野菜全般)

- ・ **ハスモンヨトウ**の発生は、九州の一部地域で「多い」、関東及び東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫の防除適期は集合した若齢幼虫期なので、早期発見に努め、薬剤防除を実施してください。

今後の発生量が多い・やや多いと予想される病虫害及び対象地域

- ・ 7月中旬の低温、日照不足から天候は回復傾向ですが、ねぎの病害の発生が東北地方を中心に広い地域で「やや多い」と予想されます。その他の野菜類に見られる各種病虫害の発生は、次表のとおりと予想されます。病虫害の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ これから育苗や定植を行う施設では、害虫の発生源となる雑草を除去するとともにネット展張などにより害虫やウイルス保毒虫の侵入防止に努めてください。また、罹病苗や株は病害の発生源となるので、施設外に除去し適切な処理に努めてください。

作物名／病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
トマト		
灰色かび病		北東北、東海
葉かび病	北関東	北東北、東海
アブラムシ類		甲信
アザミウマ類	関東	
タバコガ		近畿、中国

なす		
うどんこ病		南関東、東海、近畿、四国
アザミウマ類		近畿、南九州
コナジラミ類	北関東	
タバコガ	南関東	近畿
ハダニ類	近畿	
きゅうり		
うどんこ病		南関東、甲信、北陸
べと病		北陸、近畿
アブラムシ類		甲信
アザミウマ類	北関東	
ねぎ		
黒斑病		北東北、北関東、北陸、東海
さび病		東北、北陸
べと病		北東北、中国
アザミウマ類	南関東	北東北、北陸
いちご		
炭そ病		東海
ハダニ類	北九州	北関東

花き

- ・ **白さび病**の発生は、北陸及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は発病後の防除は困難です。ほ場観察を行い、本病の早期発見に努め、発生初期での防除を徹底してください。
- ・ **アブラムシ類**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」、**アザミウマ類**の発生は、甲信及び東海の一部地域で「やや多い」、**ハダニ類**の発生は、北関東の一部地域で「多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
ほ場観察を行い、本害虫の早期発見に努め、発生を認めた場合は、発生初期での防除を徹底してください。

その他

前回発表（平成 21 年 8 月 6 日）以降、各都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

■ 警報

発表月日	都道府県名	作物名	病害虫名
8 月 26 日	鹿児島県	水稲	トビイロウンカ

■ 注意報

発表月日	都道府県名	作物名	病害虫名
8 月 6 日	鳥取県	なし	黒星病
8 月 6 日	鹿児島県	水稲	トビイロウンカ
8 月 7 日	大分県	水稲	穂いもち
8 月 7 日	岩手県	水稲	穂いもち
8 月 10 日	福島県	水稲	穂いもち
8 月 11 日	大阪府	水稲	葉いもち、穂いもち
8 月 13 日	新潟県	もも	せん孔細菌病
8 月 13 日	新潟県	ぶどう	べと病
8 月 18 日	佐賀県	水稲	穂いもち
8 月 20 日	山口県	水稲	斑点米カメムシ類
8 月 20 日	広島県	水稲	トビイロウンカ
8 月 21 日	和歌山県	水稲	トビイロウンカ
8 月 24 日	熊本県	水稲	トビイロウンカ
8 月 25 日	大分県	水稲	トビイロウンカ
8 月 26 日	鹿児島県	大豆、野菜類	ハスモンヨトウ
8 月 27 日	長崎県	水稲	トビイロウンカ
9 月 1 日	山口県	水稲	トビイロウンカ
9 月 4 日	熊本県	かんきつ、かき、なし	果樹カメムシ類
9 月 4 日	和歌山県	水稲	トビイロウンカ
9 月 8 日	佐賀県	水稲	トビイロウンカ
9 月 9 日	佐賀県	いちご	うどんこ病
9 月 9 日	佐賀県	いちご	ハダニ類

■ 特殊報

発表月日	都道府県名	作物名	病害虫名
8月6日	大分県	ニガウリ	ニガウリ青枯病
8月7日	鹿児島県	きく科作物	アワダチソウグンバイ
8月7日	長野県	ほうれんそう	ほうれんそうモザイク病 (TRV)
8月7日	福島県	トマト	ポテトスピンドルチューバーウイルス (PSTVd)
8月13日	神奈川県	うめ	プラムポックスウイルス (PPV)
8月19日	島根県	茶	ミカントゲコナジラミ
8月20日	兵庫県	トマト	トマトすすかび病
8月21日	福岡県	ばれいしょ、かぶ	イエシロアリ、ヤマトシロアリ
8月27日	宮崎県	きく科作物	アワダチソウグンバイ
8月28日	神奈川県	トルコキキョウ	トルコキキョウ黄化えそ病 (TSWV)
8月28日	神奈川県	ルッコラ	ミドリサルゾウムシ
8月28日	徳島県	ズッキーニ	カボチャモザイク病 (WMV)
8月31日	福島県	りんご、日本なし	ヒメボクトウ
8月31日	福岡県	にら	ニラえそ条斑病 (IYSV)

＜平成 21 年度の病害虫発生予報の発表日＞

- 第 1 号： 4 月 23 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 2 号： 5 月 14 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 3 号： 6 月 11 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 4 号： 7 月 9 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 5 号： 7 月 23 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 6 号： 8 月 6 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 7 号： 9 月 10 日 (木曜日) . . . 今回発表
- 第 8 号： 10 月 8 日 (木曜日)
- 第 9 号： 11 月 12 日 (木曜日)
- 第 10 号： 2 月 18 日 (木曜日)

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 大岡、金武

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>